

経営比較分析表（令和5年度決算）

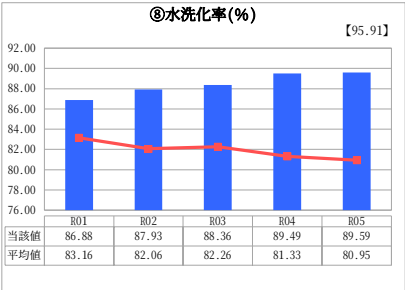
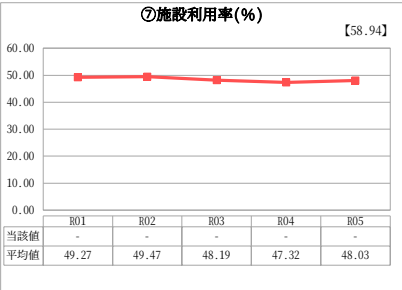
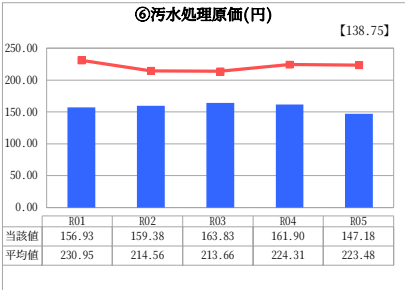
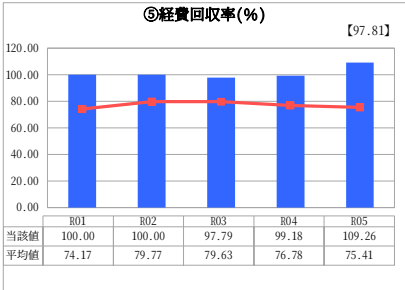
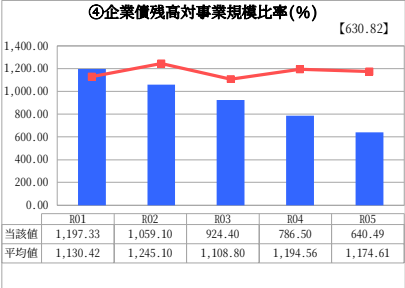
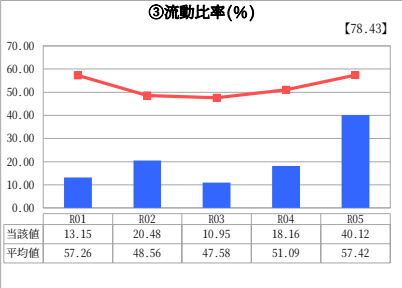
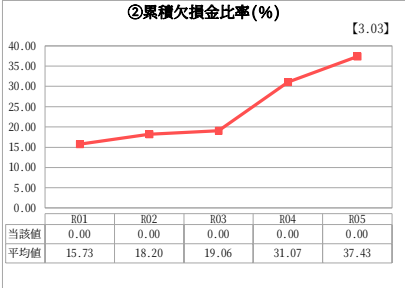
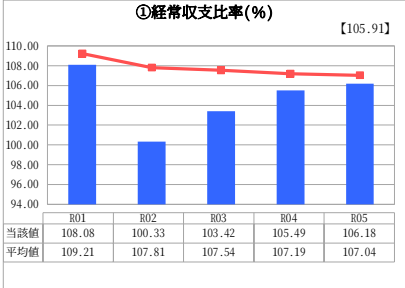
岐阜県 八百津町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	77.82	77.84	81.57	3,190

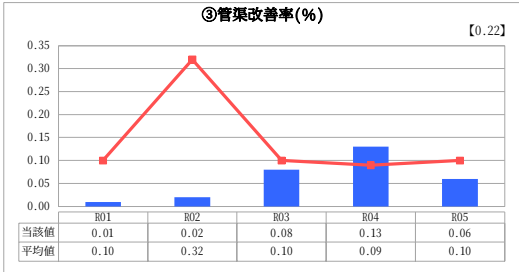
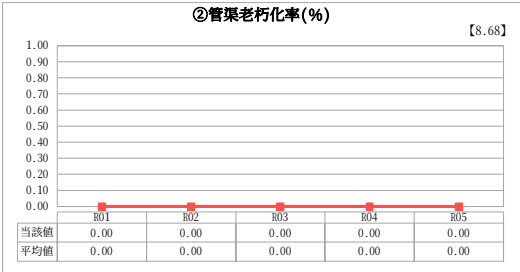
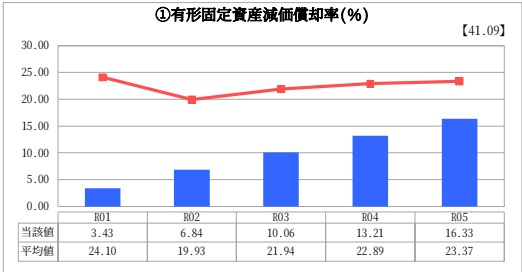
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,092	128.79	78.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,790	3.88	2,007.73

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
□ 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支は黒字ではありますが、使用料で賄いきれない部分を一般会計からの繰入金で補っている状況のため、接続率を向上させるなど使用料収入の確保や経費削減に努めます。

③流動比率は昨年より大幅に回復しましたが、流動負債の中には過去の企業負債償還金が未だ多く残っているため、先に挙げた通り今後も安定した収入の確保に努めます。

④近年においては大きな借入をしておらず、借入よりも多く償還を行っていることが減少の要因です。

⑤経費回収率は類似団体平均を上回っていますが、100%には満たないため、昨今の物価上昇により見込まれる経費の増大や今後の更新投資等に充てる財源確保に向けて、更なる費用削減或使用料収入の見直し等汚水処理費の削減に努めます。

⑥汚水処理原価については依然として平均を下回っているため、引き続き不明水対策や接続率の向上、汚水処理費の削減に取り組みます。

⑧水洗化率は平均を上回ってはいますが、100%を目標とし、未整備部分の着手や接続促進PR等を進めていきます。

2. 老朽化の状況について

平成9年度より供用を開始し、管渠については定期的に清掃や補修を実施しており、直ぐに修繕が必要なものはなく、管渠改善も老朽化によるものではありませんが、マンホールポンプ等の機械設備については老朽化が進んでおり今後も計画的な更新工事を実施していきます。

全体総括

本町では昨年同様に一般会計からの繰入金により運営出来ているのが現状です。また、今後、人口減少に伴い料金収入は減少していくことも予想されるため、事業を安定して継続させていくためにも、引き続き接続率の向上や使用料見直しも含めた収入の確保に努めると共に、経営成績や財政状況を正確に把握して経営戦略の見直し計画的な更新の実施を進めていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。